



# 社協だより

平成 24 年 1 月 15 日発行 社会福祉法人 士別市社会福祉協議会 士別市東 5 条 3 丁目 サポートセンターしべつ内 TEL22-3012  
<http://www.shibetsu-shakyo.jp/>



ボランティアサークル むぎの会



士別市西児童センター



OBバンド

## 第30回歳末チャリティーふれあい演芸会

ボランティアサークルむぎの会主催の「第30回歳末チャリティーふれあい演芸会」が12月4日に士別市民文化センターを会場に満員の観客で埋め尽くされました。

当日は、18団体約260名が出演して琴・舞踊・遊戯・一輪車・バンド・フラダンス・吹奏楽等バラエティーに富んだ内容で訪れた観客は、多彩なステージに終始大きな拍手を送っていました。

益金は、四十五万七千三百円という大きな金額となり「歳末たすけあい募金」として士別市共同募金委員会に寄付されました。

ご協力いただいた市民のみなさまに心より感謝いたします。



レイアロハフラスタジオ ルアナフラ士別

# 謹んで年始のご挨拶を申し上げます



社会福祉法人  
士別市社会福祉協議会  
会長 齋 木 勲



皆様には、輝かしい希望に満ちた新春を健やかに迎えのとお慶び申し上げます。

旧年中は、社会福祉協議会の運営・事業に格別のご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

本年も、本市の社協活動と地域福祉の発展のため、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

昨年は未曾有の被害をもたらした東日本大震災によって、人と人とのつながり、地域の支え合いの大切さが再認識されました。

被災されました方々にお見舞い申し上げますとともに一日も早い復興をお祈りいたします。社協に寄せられました、多くの市民からの心温まる義援金・品等は共同募金委員会を通じ被災地のもとへお届けしております。

また、当市で開催された「ボランティア愛ランド北海道」が多くのボランティアに支えられ成功裡に終了することができました。

これも偏に士別市をはじめ実行委員会並びにボランティア団体のご協力の賜と感謝いたしております。

さて、社会福祉分野における動向は、児童・障がい者・高齢者などの福祉ニーズが複雑・多様化し、ますます地域福祉の推進が重要となつてきております。

この時にあたり、「誰でも生きがいをもって、安心して暮らしていける福祉のまちづくり」の実現を目指して、地域住民の方々やボランティア組織など関係団体との連携を深め、地域福祉の中核的な推進機関として、役員一丸となり進めて参りたいと考えております。

皆様方の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

皆様方のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。

## 歳末チャリティー第27回カラオケ選手権大会

しべつふれあいの会主催の「歳末チャリティー第27回カラオケ選手権大会」が12月11日に士別市民文化センターを会場に満員の観客で埋め尽くされました。今回の選権には20人が出場してそれぞれが自慢ののどを披露しながら優勝を目指して熱唱しました。

ゲストコーナーでは第23回から第26回までのチャンピオンが出場。また、賛助出演として日本現代舞踊徳本流すずらん会士別教室の人たちが踊りを披露していただき、訪れた観客は、参加者たちの歌声を楽しんでいました。益金は三十七万四千八百三十円という大きな金額となり「歳末たすけあい募金」として士別市共同募金委員会に寄付されました。ご協力いただいた市民のみなさまに心より感謝いたします。



## 「除雪ボランティア企業募集」

社会福祉協議会では、市内にお住まいの、高齢者または身体に障がいのある方で自力で除雪できない方に対しての支援活動にご協力いただく「除雪ボランティア企業」を募集しています。

活動は、毎年1月から3月にかけて除排雪の依頼があつたお宅を確認し、登録企業に呼びかけ、日程などの調整後活動していただきます。

現在の登録企業は、しずお建設さん、久光組さん、三共建設さん、協友建設さん、西尾運送さんの5社です。

詳細につきましては、士別市社会福祉協議会事務局へお問い合わせ下さい。

2213012



## ボランティアセンター「掲示板」

### ふれあい演芸会」の裏方として

今回で30回目を迎えた「ふれあい演芸会」にここ数年、舞台の裏方として参加しています。

ボランティア活動も数々ありますが、私自身が楽しみにしている活動のひとつです。それは、普段できない舞台の袖での鑑賞や、たぶんテレビや演劇などでも共通しているであろう舞台裏の仕事を体験できるからです。

舞台では、琴の演奏やフラダンスなど優雅な出し物もあれば、園児による歌や踊りなど多種多様です。

裏方の仕事は各出演者の要望に応じて楽器やマイク、テーブルなどの設置、緞帳の上下などがあり、中でも体力勝負なのが山台の設置です。土別中学校や土別南中学校の吹奏楽は、この山台を9個使い素晴らしい演奏を聴かせてくれます。とはいえ、ゆつくり聴き入ることは許されず、次の準備を考えて行動することが、このボランティアに求められています。

経験豊富なスタッフから脈々と受け継がれているこの活動を、今後も続けていきたいと考えています。

M・O



## 朝日支部「地域福祉活動」の一年を振り返って

「東日本大震災」への義援金募集にあたり、地域の皆さんから多額寄付金が寄せられました。



「ボランティア愛ランド北海道2011 かみかわ北部 in しべつ」に「知恵の蔵」運営委員の皆さんが第8分科会を担当しました。



忠魂碑境内に遺族・来賓他関係者50余名のご臨席のもと、「招魂祭」式典がしめやかに執行されました。



「ふれあい昼食会」への参加者も徐々に増加し、毎月60人前後の皆さんに会食を楽しんでいただいております。



44回目の「朝日町福祉運動会」が開催され、11種目の競技を楽しみました。



会食前の「ふれあいトーク」10月は、土別消防署の沼田主幹から「東日本大震災救助活動について」のお話でした。



